

ぐんまの公共交通を守るために

日時：2025年11月27日(木)13:30～16:30

会場：群馬県公社総合ビル多目的ホール

前橋市大渡町1-10-7(アクセスは裏面)



◆群馬県スマートムーブ推進協議会は、公共交通の維持・再構築をテーマとしたフォーラムを下記の通り開催します。今年度は「地方都市におけるバス利用促進」に焦点を当て、基調講演及び関係者によるパネルディスカッションを行います。

群馬の公共交通の未来を考える貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

基調講演

13:40～15:10



公共交通が変わればまちが変わる ～バス利用促進とまちづくりの連携～

講師：浅見知秀氏（前小山市都市整備部長）

みちのりホールディングス ディレクター

○公共交通が変わる話

○まちが変わる話

パネル ディスカッション

15:20～16:30

地方都市における バス利用促進方策

パネリスト

小又万里氏（群馬県バス協会部会長）

大島登志彦氏（高崎経済大学名誉教授）

奈賀由香子氏（のりのり学会）

アドバイザー 浅見知秀氏（みちのりホールディングス）

コーディネーター 西園大実氏（前橋工科大学理事長）

参加費：500円

申込み・お問合せ

電話またはWEBフォームでお申し込みください。

TEL 027-289-5944(月～金:9～17時) WEB QRコードから入力⇒



主催：群馬県スマートムーブ推進協議会（群馬県地球温暖化防止活動推進センター内）

後援：上毛新聞社、群馬テレビ、エフエム群馬、ほか交通関係5団体



SDGs目標11

持続可能なまちづくり

11.2 2030年までに、脆弱な立場にある人々、女性、子ども、障害者及び高齢者のニーズに特に配慮し、公共交通機関の拡大などを通じた交通の安全性改善により、すべての人々に、安全かつ安価で容易に利用できる、持続可能な輸送システムへのアクセスを提供する。

11 住み続けられるまちづくりを



群馬県の交通の現状

公共交通利用者は、全体の2.8%
100mの移動にも、4人に1人が、自動車を利用

交通手段構成比の他都市圏との比較



鉄道・バス
あわせて2.8%

距離帯別の代表交通手段構成比



群馬県交通イノベーション推進課資料

【浅見知秀氏プロフィール】 みちのりホールディングス ディレクター

筑波大学にて都市計画、交通計画を学び、卒業後JR東日本にて新駅建設・新幹線高速化プロジェクトなどに従事。その後国土交通省にて都市計画分野の政策立案、自治体支援業務に従事、小山市では都市整備部長・技監として都市計画、公共交通分野の指揮監督に従事。現在みちのりホールディングスにてグループ各社に関わる交通計画の策定・支援、新モビリティサービスの開発・普及等に従事中。

博士(社会工学)、技術士(建設部門:都市及び地方計画)



【会場までの路線バスアクセス】

<往路>

前橋駅前6番 群馬中央バス・新前橋駅西口行

13:00発 公社ビル入口 13:11着

前橋駅前5番 群馬バス・イオンモール高崎行

13:05発 公社ビル入口 13:13着

<復路> 公社ビル入口発

16:48⇒17:10 前橋駅(群馬中央バス)

17:07⇒17:25 前橋駅(群馬バス)

主催:群馬県スマートムーブ推進協議会

(事務局:群馬県地球温暖化防止活動推進センター)

前橋市大渡町1-10-7 群馬県公社ビル6階

TEL 027-289-5944 FAX 027-289-5945

URL: <https://www.gccca.jp/>

